

「木のいえ」のさらなる可能性拡大に向けて

「木のいえ一番振興協会」

CLT 低層住宅・技術プロジェクトが国交省補助金対象に決定！

～2017 年秋、山中湖に実験棟建築へ～

内外装に木をふんだんに使った本物の「木のいえ」の普及を目指す「一般社団法人 木のいえ一番振興協会」（東京都渋谷区、会長：二木浩三）は、このたび、木のいえの新たな可能性拡大を図るための「CLT 外部現わし利用技術検証プロジェクト」において、国土交通省「平成 28 年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」に採択されました。これを受け、CLT を外部に現わした小規模低層住宅の実験棟を、山梨県山中湖村に、2017 年秋完成の予定で建築し、技術の検証を行っていきます。

■CLT 小規模低層住宅について

高い断熱性や強度、施工工期短縮など、さまざまなメリットで注目されている木質建築材 CLT（Cross Laminated Timber／直交集成板）。その利用は欧米各国で急速な伸びを見せています。

日本でも 2016 年 4 月に CLT 設計関連の建築基準法告示が公布・施行されましたが、その内容は、3 階建て以上の中層建築物向けで、また、CLT の外部現わし利用も想定されていません。

現在、「日本 CLT 協会」が中心となって、CLT 中層建物の普及を推進していますが、当協会としては、「木のいえ」の新たな可能性拡大を目指して、CLT を外部に現わした小規模低層住宅の普及に取り組んでまいります。



©一般社団法人木のいえ一番振興協会

■国土交通省「平成 28 年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」について

国土交通省の当該事業は、低炭素社会の実現に向けて、先導的な設計・施工技術により、住宅・建築物の木造・木質化をリードするプロジェクトを支援し、補助金を交付するものです。

当協会は、CLT を外部に現わした小型実験棟を建築し、技術の検証を行う「CLT 外部現わし利用技術検証プロジェクト」を提案申請し、その有用性が評価され、採択されました（交付金 2,100 万円）。

■CLT 外部現わし小型実験棟について

当協会は、「CLT 外部現わし小規模低層住宅」の普及を図るべく、下記のように、山中湖に、小型実験棟を建築し、技術の検証を進めてまいります。

「CLT 外部現わし小型実験棟」概要

- ・ 建築地：山梨県南都留郡山中湖村
- ・ 延床面積：48.6 m²
- ・ 階数：2 階
- ・ 完成時期：2017 年 11 月予定

実験・検証内容

- ・ 「小規模」「CLT 現わし」に適した設計手法
- ・ 基礎脚部等の接合金物の収まり
- ・ 接合仕様の工夫による施工の合理化
- ・ CLT 外部現わしの経年変化の検証
- ・ CLT 外部現わし表面のメンテナンスの検証
- ・ CLT 内部現わしによる居住性に関する体感の検証、及び、温熱環境の検証

CLT を活用した新たな「木のいえ」普及に向けての取組みとして、ぜひご注目ください。